

Yasuko TASUMI

piano recital



《PROGRAM》

J. ブラームス：4つのピアノ小品 作品119 (1892)

J. Brahms: 4 Stücke op.119

C. フランク：プレリュード、コラールとフーガ (1884)

C. Franck: Prélude, choral et fugue

D. ショスタコーヴィチ：

ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 作品134 (1968)

D. Shostakovich:

Sonata for Violin and Piano op.134

ヴァイオリン：ギオルギ・バブアゼ
Violin: George Babuadze

田隅靖子

ピアノ リサイタル

残照の音楽

～晩年の作曲家たち～

2022

5

1 (日)

開演 14:30 (開場 13:45)

京都コンサートホール アンサンブルホールムラタ

●京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車①・③番出口より南へ徒歩5分

入場料(全席自由)：¥3,500 (当日：¥4,000)

田隅靖子●ピアノ Yasuko TASUMI

ピアノの勉強を15歳より本格的に始める。フェリス女学院短期大学音楽科(現、フェリス女学院大学)卒業。国内外で「日本の作曲家の調べ」「モーツァルトによせて」など、テーマに基づく演奏会を開催。その他、セザール・フランクのピアノを含む主要な作品を4回の演奏会で取り上げる。1999年、「ショスタコーヴィチの調べ」に対して大阪文化祭本賞を受賞。また、ザグレブ・ソロイスト、京都市交響楽団、R.ホフマン、P.ダムとの共演を重ねるなどアンサンブルでも活動中。

「セザール・フランクピアノ作品集」「アウシュヴィッツ鎮魂」などのCDをリリース。「アウシュヴィッツ鎮魂」については、ポーランド・ユダヤ文化センターの招きで、クラクフ、カトヴィツェなどへ演奏旅行。

2004年京都市立芸術大学教授を退任、同大学名誉教授。2006～12年京都女子大学教授。2009～19年京都コンサートホール館長。2005年京都市文化功労者。2020年第38回京都府文化賞特別功労賞受賞。

ギオルギ・バブアゼ●ヴァイオリン George Babuadze

ジョージア出身。国立トビリジ音楽院ヴァイオリン専攻卒業。同大学院指揮科修了。1990～93年ジョージア音楽協会室内管弦楽団の芸術監督及び首席指揮者。1993年イタリアへ渡る。1996～01年大阪シンフォニカー交響楽団コンサートマスター。1998年トビリジ弦楽四重奏団結成。2001年より関西フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター。2002年より京都市立芸術大学非常勤講師。2005年より関西シティフィルハーモニー交響楽団常任指揮者。2006年ジョージア国立歌劇場客演指揮者就任。2010年よりジョージアン・シンフォニエッタ室内オーケストラ首席指揮者。これまでに阪大オペラ、堺オペラを指揮。2018年に「音楽クリティッククラブ賞奨励賞」をアフター・アワーズ・セッションのメンバーとして受賞。2019年に「大阪市市民表彰」、令和元年秋の叙勲において「旭日単光章」を受賞。

■主催：エラート音楽事務所

■共催：京都コンサートホール(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)
京都市

■チケット申込み

京都コンサートホール 075-711-3231

ロームシアター京都 075-746-3201

エラート音楽事務所 075-751-0617

ローソンチケット <https://l-tike.com> (Lコード：51855)

チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード：212-138)

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※本公演では、感染症対策を実施しています。
ご協力の程をお願い申し上げます。

■お問合せ：エラート音楽事務所 075-751-0617